

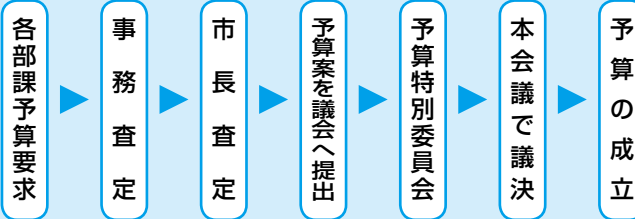
# 平成22年度予算を審査

今期定例会に総額461億580万円の笠間市の平成22年度予算が市長から提案されました。それを受け議会で、8人の予算特別委員会を設置し、3月11日、12日、15日の3日間に行われ、市の関係部課長などの出席を求め審査を行いました。

審査は、部単位に、それぞれの課ごとに説明を受け、質疑応答を行いました。ここでは、審査での主な質疑や委員から出された意見などについて紹介します。

## 予算成立までの流れ

10月頃から各部課で予算要求書の作成が始まり、事務査定を経て、市長査定を受けた後、予算案が作成されます。作成された予算案は、3月の定例会に提出され、予算特別委員会で3日間審議された後、本会議で議決され、当初予算として成立します。



### ■審査の過程での主な質疑・意見 一般会計

**市長公室** 緊急雇用創出事業による雇用者数の見込み、デマンド交通業務の委託による効果、職員が使用するパソコンの購入計画と耐用年数との整合性、消耗品の一括管理によるコスト削減など。

**総務部** 県議選と市議選が同時選挙になった場合の経費削減効果、区長文書の現状と削減の努力、準備契約の状況や準備契約が執行済みの案件に対し予算が成立しなかった場合の措置、固定資産の評価方法、コンビニ収納の状況と今後の展望、租税債権管理機構への依頼状況など。

**市民生活部** 市管理の防犯灯の設置状況、ごみ減量化推進事業基金繰入金金の使途など。

**福祉部** 生活保護の実態と認定基準、「いこいの家はなさか」の運営状況や指定管理移行後の利用者の反応、子ども手当の支給対象者把握方法、水戸地方広域圏事務組合（ひぬま荘）に対する市としての今後の方針など。

**保健衛生部** 休日診療にかかる経費、「かさま健康ダイヤル24」の実績と成果など。

**産業経済部** 土地改良区への電気料負担の現状、農地・水・環境保全対策事業の実施状況、産業祭の実

施方法、観光マナージャーの役割と効果など。

**都市建設部** 南友部平町線の工事が茨城県へ委託される理由、生活道路の整備予定箇所など。

**消防本部** 消火栓や防火水槽の設置状況と今後の整備計画や設置に対する財源など。

**教育委員会** 派遣指導主事市負担金の積算根拠と増員の効果、学校給食費の滞納対策や統一へ向けての進捗状況、登校拒否やいじめの現状、市史編さんの進捗状況、スポーツ施設の指定管理者の管理内容など。

**その他** 課税台帳と農地台帳の整合、農政課と農業委員会の窓口業務の調整、指定金融機関での公金収納時の対応の改善など。

**特別会計**  
**国民健康保険特別会計** 国税の収納率の状況、出産一時金の支給方法など。

**介護保険特別会計** 小規模多機能型施設に対する補助金の状況、介護保険料の滞納の状況など。

**公共下水道事業特別会計** 下水道接続支援事業の実施状況、漏水等による減免措置の適用範囲、委託料の指名競争入札の状況と指名競争入札にする理由など。

**農業集落排水事業特別会計** 管路の不明水の原因と対策、道路の上にあるマンホールの管理区分など。

**岩間駅東土地区画整理事業特別会計** 事業資金の財源内訳、保留地

処分が予定通りできなかった場合の対応策、物件移転補償の評価基準など。

**企業会計**  
**市立病院事業会計** 休日診療により増加する経費、医師の確保策、赤字の補填財源と解消策など。

**水道事業会計** 鉛管の状況と撤去スケジュール、水道運営審議会の役割、コンビニ納付の状況と収納率、地下水の利用状況など。

以上、3日間にわたり、活発な質疑応答が交わされました。

3月15日に予算特別委員会で採決を行い、全会計とも全会一致で原案のとおり可決しました。

その後、定例会最終日の3月19日の本会議で予算特別委員会の審査結果を報告し、採決の結果、平成22年度の全会計予算を可決しました。

平成22年度会計別予算の状況 (千円)

会計名	予算額	
一般会計	26,540,000	
特別会計	国民健康保険	7,913,700
	老人保健特別会計	7,600
	後期高齢者医療	638,000
	介護保険	4,454,000
	介護サービス事業	27,400
	公共下水道事業	2,523,200
	農業集落排水事業	875,100
企業会計	岩間駅東土地区画整理事業	119,800
	市立病院事業会計	545,900
	水道事業会計	2,429,200
	工業用水道事業会計	31,900
合計	46,105,800	